

研究課題：開胸後の脊柱変形の自然経過

1. 研究の目的

新生児や乳児の時期に胸骨縦割や肋間からの開胸歴があると将来脊柱変形を生じる可能性があります。長期の脊柱変形の自然経過はわかっていません。本研究の目的は、開胸歴がある症例の脊柱変形の自然経過を明らかにすることです。

2. 研究の方法

2000年1月1日から2020年12月31日までに当院を受診し、当院で開胸手術歴のある患者様が対象となります。診療録から後方視的研究を行います。

3. 研究期間

2023年3月(倫理委員会で承認を得られた日)から2026年1月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、経過観察時の画像所見、開胸時の術式、開胸手術回数といった評価項目などの情報を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者： 整形外科 科長 氏名 平良勝章
研究分担者： 整形外科 医長 氏名 町田真理

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の

代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2023年9月30日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）